

藤井寺市 子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査

(小学校児童用)

調査ご協力をお願い

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

平成 24 年8月、国において「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

このため、事業計画策定に向け、市民の皆様の子育て支援や少子対策に関する生活実態、ご要望・ご意見などを把握すべく、「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」を行います。

この調査は、住民基本台帳の中から本市内の小学1年生～3年生のお子さんを無作為に偏ることなく600人抽出し、ご協力をお願いするもので、あなたのご回答やご意見が、子ども・子育て支援の充実へとつながり、すべての子どもが健やかに成長することができる社会の実現に結びつくものです。

また、ご回答いただいた調査内容は、市や国・府の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、すべての子どもの最善の幸せのためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月

藤井寺市

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんのことについてご記入ください。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。
また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて10月31日(木)までにご投函ください。

(参考)用語の定義

幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所：児童福祉法に定める、保育に欠ける0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
子育て：教育・養育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

【お問い合わせ先】 藤井寺市 健康福祉部 こども育成室 子育て支援課
TEL：072-939-1162(直通) FAX：072-952-9505

ご家族の構成や保護者の働いている状況などについてお伺いします

問1 現在、お住まいの地域の小学校区名についてお伺いします。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 藤井寺 | 2. 藤井寺南 | 3. 藤井寺西 | 4. 藤井寺北 |
| 5. 道明寺 | 6. 道明寺東 | 7. 道明寺南 | |

上記の小学校区が分からない場合は、町名をご記入ください。(例：青山1丁目)

()

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月について、枠内に数字をご記入ください。

平成 () 年 () 月 生まれ

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の方の生年月をご記入ください。

() 人 末子の生年月 平成 () 年 () 月 生まれ

問5 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 父と母と一緒に住んでいる | 2. 母と一緒に住んでいる (母子家庭) |
| 3. 父と一緒に住んでいる (父子家庭) | 4. 祖父と一緒に住んでいる |
| 5. 祖母と一緒に住んでいる | 6. 祖父が近所に住んでいる |
| 7. 祖母が近所に住んでいる | 8. その他 () |

問6 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|------------|

問7 日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ 問7-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事ときには祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ 問7-1へ |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる | ⇒ 問7-2へ |
| 4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる | ⇒ 問7-2へ |
| 5. いずれもない | ⇒ 問8へ |

問7-1 問7で「1.」または「2.」のお子さんを祖父母等の親族にみてもらっている方にお伺いします。

お子さんを祖父母等の親族にみてもらっていることに対する気持ちについてお伺いします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族なので、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約が大きく心配である
4. 祖父母等の親族の精神的な負担が大きく心配である
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

問7-2 問7で「3.」または「4.」のお子さんを友人や知人にみてもらっている方にお伺いします。お子さんを友人や知人にみてもらっていることに対する気持ちについてお伺いします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人や知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人や知人の時間的制約が大きく心配である
4. 友人や知人の精神的な負担が大きく心配である
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

問8 あて名のお子さんの子育てや子どもの教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問8-1へ 2. いない/ない ⇒ 問9へ

問8-1 問8で「1. いる/ある」を選ばれた方にお伺いします。

気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者
2. 祖父母等の親族、(同居している) 家族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 小学校の先生
6. 放課後児童会の指導員
7. 地域子育て支援拠点、児童館などの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体
8. ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾などの習い事の先生
9. 民生委員・児童委員、主任児童委員
10. かかりつけの医師
11. 市役所の教育相談の窓口
12. 携帯電話やインターネットの交流サイト
13. その他 ()

問9 封筒のあて名のお子さんの「母親」の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお伺いします。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

母親 【父子家庭の場合は記載不要 ⇒ 問10へ】

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| 1. フルタイムで就労している | ⇒ 問9-1へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ 問9-1へ |
| 3. パート・アルバイトなどで就労している | ⇒ 問9-1、問9-2へ |
| 4. パート・アルバイトなどで就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ 問9-1、問9-2へ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | ⇒ 問9-3へ |
| 6. これまでに就労したことがない | ⇒ 問9-3へ |

※「フルタイム」・・・1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」・・・「フルタイム」以外の就労

問9-1 問9で「1.」から「4.」の就労している（休業中の方も含む）を選ばれた方にお伺いします。

⇒「5.」または「6.」の就労していないを選ばれた方は、問9-3へ

1週間にどのくらいの日数、1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をご記入ください。枠内にもっとも多いパターンの具体的な数字をご記入ください。時間は、必ず(例)9:00~18:00のように24時間制でご記入ください。

母親 【父子家庭の場合は記載不要】

1週当たり () 日 / 1日当たり () 時間
出発時間 (:) / 帰宅時間 (:)

問9-2 問9で「3.」または「4.」のパート・アルバイトなどを選ばれた方にお伺いします。

⇒「1.」または「2.」のフルタイムを選ばれた方は、問10へ

フルタイムへの転換希望がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

母親 【父子家庭の場合は記載不要】

- | |
|--------------------------------|
| 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある |
| 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい |

問9-3 問9で「5.」または「6.」の就労していないを選ばれた方にお伺いします。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけ、該当する枠内に具体的な数字でご記入ください。

母親 【父子家庭の場合は記載不要】

- | |
|------------------------------------|
| 1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない） |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが、() 歳になったころに働きたい |
| 3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい |
| ⇒ 希望する働き方 |
| ア. フルタイム |
| イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外） |
| → 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 |

問 10 封筒のあて名のお子さんの「父親」の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお伺いします。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

父親 【母子家庭の場合は記載不要 ⇒ 問 11 へ】

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. フルタイムで就労している | ⇒ 問 10-1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ 問 10-1 へ |
| 3. パート・アルバイトなどで就労している | ⇒ 問 10-1、問 10-2 へ |
| 4. パート・アルバイトなどで就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ 問 10-1、問 10-2 へ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | ⇒ 問 10-3 へ |
| 6. これまでに就労したことがない | ⇒ 問 10-3 へ |

※「フルタイム」・・・1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」・・・「フルタイム」以外の就労

問 10-1 問 10 で「1.」から「4.」の就労している（休業中の方も含む）を選ばれた方にお伺いします。

⇒「5.」または「6.」の就労していないを選ばれた方は、問 10-3 へ

1週間にどのくらいの日数、1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をご記入ください。枠内にもっとも多いパターンの具体的な数字をご記入ください。時間は、必ず（例）9:00～18:00 のように 24 時間制でご記入ください。

父親 【母子家庭の場合は記載不要】

1週当たり（ ）日	/	1日当たり（ ）時間
出発時間（ : ）	/	帰宅時間（ : ）

問 10-2 問 10 で「3.」または「4.」のパート・アルバイトなどを選ばれた方にお伺いします。

⇒「1.」または「2.」のフルタイムを選ばれた方は、問 11 へ

フルタイムへの転換希望がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

父親 【母子家庭の場合は記載不要】

- | |
|--------------------------------|
| 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある |
| 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい |

問 10-3 問 10 で「5.」または「6.」の就労していないを選ばれた方にお伺いします。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけ、該当する枠内に具体的な数字でご記入ください。

父親 【母子家庭の場合は記載不要】

- | |
|---|
| 1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない） |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったころに働きたい |
| 3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい |
| ⇒ 希望する働き方 |
| ア. フルタイム |
| イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外） |
| → 1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間 |

問 11-4 問 11-3の(1)または(2)で「3. 月に1～2回は利用したい」を選ばれた方にお伺い
します。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3. 祖父母等の親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問 11-5 問 11で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

現在通っている放課後児童会にどのようなことを希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 朝の利用時間を延長する
2. 夕方の利用時間を延長する
3. 施設や設備を改善する
4. 指導内容を工夫する
5. その他 ()
6. 特になし

問 11-6 問 11で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。「1.」を選択した場合は、枠内に具体的な数字をご記入ください。

1. 放課後児童会を利用したい →小学 () 年生まで利用したい
2. 放課後子ども教室を利用したい
3. スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
4. 子どもに自宅の留守番をしてもらう
5. その他 ()

問 11-7 問 11で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

放課後児童会を利用していない状況について「1.」または「2.」のどちらかを選択し、当てはまる理由に1つだけ○をつけてください。

1. 当初から利用していない
⇒ 当初から利用していない理由
ア. ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
イ. 祖父母等の親族がみている
ウ. 近所の人や父母の友人・知人がみている
エ. 父母とも働いていて利用したいが、放課後児童会に空きがない
オ. 父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
カ. 父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
キ. 父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
ク. 父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
ケ. その他 ()
2. 利用していたが途中で退会した
⇒ 退会された理由
ア. 子どもの面倒をみるようになったから
イ. 子どもが放課後に習い事に行くようになったから
ウ. 子どもが辞めたいといったから
エ. 経済的負担が大きかったから
オ. その他 ()

問 11-8 問 11 で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、放課後児童会を利用したいとお考えですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。利用希望がある場合は、枠内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18:00 のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

- | | |
|--|------------|
| 1. 利用したい
→1週当たり () 日 1日当たり () 時間 (:) まで | ⇒ 問 11-9 へ |
| 2. 今後も利用しない | ⇒ 問 12 へ |

問 11-9 問 11-8 で「1. 利用したい」を選ばれた方にお伺いします。

土曜日と日曜日・祝日に放課後児童会の利用希望がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。利用希望がある場合は、枠内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18:00 のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

(1) 土曜日

- | | |
|-------|------------------------|
| 1. ある | →1日当たり () 時間 (:) まで |
| 2. ない | |

(2) 日曜日・祝日

- | | |
|-------|------------------------|
| 1. ある | →1日当たり () 時間 (:) まで |
| 2. ない | |

封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応や、不定期な一時預かりについてお伺いします

問 12 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についてお伺いします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. あった | ⇒ 問 12-1 へ | 2. なかった | ⇒ 問 13 へ |
|--------|------------|---------|----------|

問 12-1 問 12 で「1. あった」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。当てはまる記号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字をご記入ください。半日程度についても1日としてカウントしてください。

- | | | |
|--|-------|------------------------------|
| ア. 父親が仕事を休んだ | () 日 | } ⇒ (「ア.」「イ.」を選択) ⇒ 問 12-2 へ |
| イ. 母親が仕事を休んだ | () 日 | |
| ウ. 祖父母等の親族、友人・知人にみてもらった
(同居している場合も含む) | () 日 | } ⇒ (「ウ.」～「ケ.」を選択) ⇒ 問 13 へ |
| エ. 働いていない父親か母親が子どもをみた | () 日 | |
| オ. 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した | () 日 | |
| カ. 家事育児代行サービスを利用した | () 日 | |
| キ. ファミリー・サポート・センターを利用した | () 日 | |
| ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | () 日 | |
| ケ. その他 () | () 日 | |

問 12-2 問 12-1で「ア.」「イ.」の仕事を休んだを選ばれた方にお伺いします。

そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に1つだけ○をつけ、利用希望がある場合は枠内に具体的な数字をご記入ください。

なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい → () 日 |
| 2. 利用したいと思わない |

問 13 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(子どもが病気の際の保育施設などの利用は除きます。)当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字をご記入ください。

- | |
|--|
| 1. 祖父母等の親族、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む) () 日 |
| 2. ファミリー・サポート・センターを利用した (センターに登録している地域住民が子どもをみてるサービス) () 日 |
| 3. 夜間看護事業：トワイライトステイを利用した (仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの) () 日 |
| 4. 家事育児代行サービスを利用した () 日 |
| 5. その他 () () 日 |
| 6. 預けるようなことはなかった |

問 14 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけなかったことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)当てはまる番号1つだけ○をつけてください。

- | |
|-------------------|
| 1. あった ⇒ 問 14-1 へ |
| 2. なかった ⇒ 問 15 へ |

問 14-1 問 14で「1. あった」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数について枠内に具体的な数字をご記入ください。

- | |
|--|
| 1. 祖父母等の親族、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む) () 泊 |
| 2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの) () 泊 |
| 3. 2以外のサービス(家事育児代行サービスなど)を利用した () 泊 |
| 4. 仕方なく子どもを同行させた () 泊 |
| 5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた () 泊 |
| 6. その他 () () 泊 |

藤井寺市の子育て支援サービスについてお伺いします

問 15 藤井寺市では、下記の事業や取り組みがありますが、地域において子育て支援のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

事業および取り組み概要
1. マタニティ教室（保健センター） ＜妊婦とその家族が赤ちゃんを迎えるための教室＞
2. 新生児・妊産婦・乳幼児への訪問指導（保健センター） ＜保健師・助産師などの家庭訪問による相談＞
3. 健康相談（保健センター） ＜保健師・管理栄養士・歯科衛生士による面接・電話相談＞
4. 乳幼児健康診査（保健センター） ＜4ヶ月・1歳6ヶ月・2歳6ヶ月・3歳6ヶ月児の健康診査＞
5. 赤ちゃん・幼児・親子クッキング（保健センター） ＜赤ちゃん（離乳食）・幼児・小学生の調理実習と講義＞
6. こんにちは赤ちゃん事業（保健センター） ＜生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し不安や悩みを聞き支援＞
7. わんぱく広場や園庭開放（市立保育所） ＜就学前児童の親子のつどいの場＞
8. 子育て“ほっと”ダイヤル（市立保育所） ＜育児に関する電話相談＞
9. 地域子育て支援センター事業（ひかり保育園） ＜育児相談や親子のつどい、親同士の交流の場＞
10. つどいの広場事業（つどいの広場 ふじいでら(神愛福祉会)、ユツタリユツクリ（大阪女子短大）、バンピーノハウスおもちゃ箱） ＜育児相談や親子のつどい、親同士の交流の場＞
11. ファミリー・サポート・センター（子育て支援課） ＜地域住民による子どもの預かりサービス＞
12. ショートステイ（子育て支援課） ＜宿泊を伴う児童養護施設などでの一時的な子どもの預かりサービス＞
13. カンガルー教室（子育て支援課） ＜親子教室・個別相談＞
14. 家庭児童相談（子育て支援課） ＜家庭内における子どもの養育に関する相談・支援＞
15. 幼児親子教室（シュラホール） ＜親子のつどい、親同士の交流の場＞
16. 子育てママのおしゃべりサロン（シュラホール） ＜ボランティアによる乳幼児の育児相談、親同士の交流の場＞
17. はぐくみ学級（シュラホール） ＜幼児から中学生までの保護者を対象とした家庭教育学級＞
18. 教育相談（教育相談室） ＜学校生活や家庭生活などについての相談・支援＞
19. その他 ()

問 16 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や放課後児童会など子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他 ()
18. 特になし

封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方についてお伺いします

問 17 平日の放課後および休日の普段のお子さんの過ごし方で一番多いものはどれですか。時間帯ごとに枠内の選択肢から選び、それぞれに1つだけ番号をご記入ください。

【選択肢】

1. 平日 14～16 時 ()
2. 平日 16～18 時 ()
3. 平日 18～20 時 ()
4. 平日 20 時以降 ()
5. 休 日 ()

1. 授業などで学校にいる
2. 放課後児童会で過ごす
3. 放課後子ども教室に参加する
4. 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす
5. 家事育児代行サービスなどを利用する
6. 家や公園などで友だちと過ごす
7. 児童館など公共の施設にいる
8. 地域活動に参加する (子ども会活動、スポーツ活動)
9. 学習塾や習い事へ行く
10. 家で、ひとりで勉強などをする
11. その他 ()

子育てに対する意識についてお伺いします

問 21 あなたにとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | ⇒ 問21-1へ |
| 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい | ⇒ 問21-2へ |
| 3. つらいと感じることの方が多い | ⇒ 問21-2へ |
| 4. わからない | ⇒ 問22へ |
| 5. その他 () | ⇒ 問22へ |

問 21-1 **問21で「1. 楽しいと感じることの方が多い」を選ばれた方にお伺いします。**

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 放課後児童会の充実
2. 子育て支援のネットワークづくり
3. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
4. 子どもの教育環境
5. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8. 援護を要する子どもに対する支援
9. その他 ()

問 21-2 **問21で「2. 楽しいとつらいが同じくらい」または「3. つらいと感じることの方が多い」を選ばれた方にお伺いします。**

あなたにとって、子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。当てはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 放課後児童会の充実
2. 子育て支援のネットワークづくり
3. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
4. 子どもの教育環境
5. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8. 援護を要する子どもに対する支援
9. その他 ()

問 22 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 病気や発育発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと | 4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと |
| 5. 子どもの教育に関すること | 6. 子どもの友だちづきあいに関すること |
| 7. 子どもの不登校など | 8. 特にない |
| 9. その他 () | |

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、祖父母等の親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、祖父母等の親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居がせまいこと
12. 特にない
13. その他 ()

地域での子育てについてお伺いします

問 23 地域で子どもが健やかに育まれるようにするために、地域はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。上位3つまで○をつけてください。

1. 地域内での子どもの安全を確保するための活動をする
2. 子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える
3. 地域の歴史や文化、自然を体験したり学ぶ機会を増やす
4. 文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす活動をする
5. 子どもの学力を伸ばすための活動をする
6. 異なる考えを持った人たちや異なる年齢の人たちとの交流を進める
7. 大人の余暇時間を増やす
8. 保護者・地域住民の学校行事への参加を増やす
9. 学校が保護者・地域住民に対して学校施設などを開放する機会を増やす
10. 保護者・地域住民の地域の活動への参加を増やす
11. その他 ()
12. わからない

問 24 地域の子どもたちとの交流や活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。上位3つまで○をつけてください。

1. 活動に地域の人が参加する機会を増やす
2. 調整や助言を行う専門的なコーディネーター役が必要
3. 自治会など地域組織で、子どもや子育てについての活動に力を入れる
4. 市民を対象に地域活動を支援するボランティアの募集や養成をする
5. 市民を対象に地域活動を支援するNPOを育成する
6. 子どもにかかわる地域活動の情報を一元化する
7. 身近なところに、地域活動の拠点になる場をつくる
8. 子どもが意見を出し合い、子どもが中心になって行う活動を育成する
9. 障害がある子の参加を促進するなど、地域のすべての子どもが参加できるように配慮する
10. その他 ()
11. わからない

ご協力ありがとうございました。この調査票は、10月31日(木)までに、
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。